

## 学長年頭挨拶

### 「オール金沢大学で『未来知』により、社会貢献を」

令和5年1月4日(水)、角間キャンパスで行われた年頭挨拶にて和田学長は、「学長として9か月が経過しました。この間教職員や学生と意見交換を行い、素晴らしいアイデアや貴重な指摘をいただいたことに感謝します。本年の目標として、教育面では、博士の学位取得後に新たな制度を導入します。学生諸君には研究することの楽しさ、面白さを感じて欲しい。研究力強化では、新産学研究拠点「バイオマス・グリーンイノベーションセンター」が稼働し、さらに実証研究を推進するエンジンとして、「未来知実証センター」を新設します。人への投資、プロジェクトの推進を強力に進めていきます。2023年はウイズコロナの生活様式が一層進み、社会が大きく変革を遂げることが予想されます。今こそチャンスと捉え、大きな飛躍を目指す金沢大学の基盤を一層強固にしたいと思います。『世界に輝く金沢大学』を一人一人の努力で実現することが重要で、ゆるぎない未来ビジョンであるオール金沢大学で、社会に貢献したいと思います。皆さん、どうか本年もよろしくお願ひいたします。」と述べました。



▲年頭挨拶を述べる和田学長

学長の年頭挨拶全文は、金沢大学 Web サイトにてご覧いただけます。  
☞ <https://www.kanazawa-u.ac.jp/news/114770>

#### 短信 1

### 第12回 北陸電力金沢大学同窓会

北陸電力金沢大学同窓会は、令和4年10月14日(金)にボルファート富山にて総会を開催しました。当同窓会総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2年間、実開催を見送っており、3年振りの実開催となりました。

今回は感染対策として、懇親会開催を見送ることとしており、立案当初は、参加人数に懸念があったのですが、久しぶりの実開催ということもあり、例年と同じ規模の60名が参加しました。

来賓として、和田学長、米林支援室長にもご出席頂きました。

総会では、会計報告及び役員選任、会員異動報告が行われ後、小田会長(昭和62年卒)の挨拶、大学基金への寄付金贈呈がなされました。

その後、和田学長に特別講演を頂き、同窓会事務局ならびに松田特別顧問(昭和60年卒)によるプレゼンテーション、新規入会者挨拶の後、新木名誉顧問(昭和34年卒)による閉会の挨拶となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況のなかではありますが、来年こそは会員相互の親睦を深める”止まり木”として懇親会を開けることを期待しております。

今後も金沢大学の発展と会員相互の親睦を目的に活動を継続していきたいと思っています。

西村 雅司(経済学部 平成16年3月卒業)



▲小田会長から寄付目録、学長から感謝状



▲新入会者との記念写真



▲総会参加者の様子

短信 2

### ◎北海道学友会が3年ぶりの懇親会

金沢大学北海道学友会(紺野寛会長)は10月15日、3年ぶりとなる懇親会を札幌市内のホテルで開催しました。

コロナ禍のため、定期総会は3年続けての書面開催でしたが、懇親会は昨年のリモート開催から一步前進し、実開催としました。この2年間で新入会4人、転勤による再入会1人があり、現会員は64人。懇親会には16人が参加しました。

紺野寛会長(工・1976年)は「コロナ禍の開催について悩んだが、『3年目も開催しなければ会員間のつながりが薄れる』との役員論議を受け、実開催に踏み切った。来年こそは総会も開催したい」とあいさつ。引き続き、和田隆志学長から届いた本学の近況を伝えるビデオメッセージを披露しました。

懇親会では、会員による近況報告がありました。弁護士の稲垣佳典さん(法・2004年)は「2年間、フランス・トゥールーズに留学したが、コロナ禍によりパリに行っただけは出国時にドゴール空港に寄っただけ」と苦労話を語りました。一方で、社会保険労務士の土田陽子さん(教・2001年)は「今年は、ものすごく働き、ご褒美



▲全員での記念写真

に北陸旅行へ。尾山神社周辺がすっかり変わっていた」、苦小牧高専准教授の渡辺暁央さん(工・2000年)は「9月にモンゴルに出張し、来週は松江で学会。来月は3年ぶりに金沢へ」と、コロナ禍でも忙しく飛び回っていることが報告されました。長老格で伊達市議の寺島徹さん(法・1970年)は「コロナ禍で実施できなかった卒業50周年に来月出席する」と笑顔で話していました。3年ぶりの懇親会は大いに盛り上がり、「酔へる心の吾れ若し」の風情でした。

広報担当理事 武野伸二(経・1978年)

### 英文ニュース雑誌「TIME」アジア版(12/26・1/9号)に金沢大学が紹介されました

「TIME」掲載記事 Web 版 : <https://bit.ly/3isgj1h>

**STEAMing into the future with global learning**  
 Kanazawa University is working to attract more international students by offering top class research, liberal arts, and science subjects as part of a plan to produce leaders of the future.



Takashi Wada, President, Kanazawa University

A forward-thinking university is planning to revolutionize education for the next generation by bringing the world to Japan. The ground-breaking Faculty of Kanazawa University is working to improve not just the life and performance of its students, but of the wider society and economy.

The institution not only works to attract international learners but has developed a specially designed social system to support their local integration and well-being. Now Kanazawa University President, Takashi Wada said they need to work harder to open to the wider world while strengthening ties with local society. "Being an island country is part of what makes Japan's culture so special and inviting more international students enhances that culture, nationally and at Kanazawa University, in terms of research, the educational atmosphere, and the local community," he said. Attracting and getting the best out of the next generation of students requires a multifaceted approach combining welfare, academics, and creative thinking.

As well as its strong commitment to life sciences research, and ICT systems that support remote learning, and the web-enabled smart society of the future, the Kanazawa faculty are keen enthusiasts for STEAM studies, the modern idea of integrating arts teaching alongside technical subjects. "The newer generation requires a higher level of resourcefulness, with a wide skill set gained from a variety of areas," Wada said. "We ensure liberal arts are taught across a wide range of degree disciplines. With 160 years of history, the university is proud to look back while planning forward." The vision for the future involves ideas of what we 'should' be. Our first and most important mission is to foster the next generation of leaders and thinkers," Wada said.



全国誌「PRESIDENT」12/9号に本学の記事広告が掲載されました

全国誌 PRESIDENT (2022年12月9日号) 本誌とオンライン版に、本学の記事広告として和田学長のインタビューが掲載されました。

掲載記事 : <https://president.jp/articles/-/64075>

**同窓会 & 金沢大学関連行事予定**

- 2/7(火)◆第839回北の都会月例会(銀座ライオン新橋店)
- 2/8(水)◆法経文学部同窓会富山支部総会
- 3/7(火)◆第840回北の都会月例会(銀座ライオン新橋店)
- 3/22(水)◎令和4年度金沢大学学位記・修了証書授与式\*
- 4/4(火)◎令和5年度金沢大学入学宣誓式\*

(\*いしかわ総合スポーツセンター)

- 4/4(火)◆第841回北の都会月例会(銀座ライオン新橋店)

2022年12月

JR 東京駅八重洲エリアでデジタルサイネージに2週間 大学紹介動画を掲出



■ 大学や同窓会が業者に名簿作成を依頼することはありません。電話等による勧誘には十分ご注意ください。

■ 地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況や総会・懇親会等の開催日程、開催報告等を「学友支援ニュース・レター」に掲載ご希望の場合は、学友支援室までご連絡ください。